

「私はこう思うんだけど…」 「これってどうする？」

～みんなで考えながら、遊びを進めています～

8月21日(水) つき組

6月に海浜公園へ行って、波を見たり石や貝殻拾いをしてきましたが、その時にA君が流木を見つけて「お魚釣りみたい」と釣竿に見立てている姿がありました。園に戻ってから新聞紙で保育者と一緒にくるくる棒の釣竿を作ると、そこから「私もお魚釣り作りたい」と他の子たちにも魚釣り遊びが広がり、画用紙に魚の絵を描いたり、くるくる棒を作ったりして遊ぶ姿がありました。

作ることが楽しくて、新しい魚を次々描いて作る子どもたちですが、作った魚や釣竿をこれからどうしていこうか、子どもたちに投げかけてみました。

お魚や釣竿、
いっぱい作ったね。
これ、どうする？

～15人ずつ、2グループでのサークルタイムで聞きました～

①グループでは作った魚や釣竿をどうしようか保育者が尋ねると、みんなの答えは【お魚釣りして遊ぶ！】でした。その中で、こんな出来事がありました。

Aさん「ちょっと困ってるんだけど、お魚釣りする時に、釣り竿ギュッと持つと壊れやすいの」

保育者「えー、ギュッと持つと壊れやすいの？ どうしてかな？」

Bさん「分かった、新聞紙で作ったからや！」

Aさん「新聞紙より強いのがいる！」

保育者「(違う紙のことかな?) 新聞紙より強いのは、どんなものがあるかな？」

Bさん「折り紙とか、画用紙」

Cさん「段ボール」

Dさん「硬いし出来ないと思う」

Cさん「ガムテープで貼ればいいよ」



Aさんの「困ってる」という話から釣竿を新しく作る話、そしてどんなもので作ったらいいのかがアイデアが出ました。画用紙、折り紙、段ボールから作ってみたい素材を選び、新しく釣竿を作りました。

また、もう一方の②グループでも【お魚釣りして遊びたい!】の話から…

Eさん「お魚って水にいるよ」

Fさん「お水の中で釣ったら釣りやすいんじゃない？」

Gさん「でもお水に紙入れたらダメ」

保育者「どうしてダメなの？」

Gさん「お水に入れたら溶けるよ。ぐしゃぐしゃになる」

Hさん「テープ貼ればいいやん」

子どもたち「やってみよう！」



子ども達の意見からすぐに保育室にタライを用意してお水を入れると、一人が画用紙のままの魚を水の中へ…。テープで覆った魚の絵はにじまず、何もしていない画用紙のお魚の絵がにじむと

「あ! やっぱりお魚溶けた!」「テープ貼ったやつは溶けない!」

と違いに気付いていました。

7月上旬



※釣竿には磁石、画用紙の魚にはクリップを付けて魚釣り遊びをしています

床の上での魚釣りから…

7月下旬



タライに水をはった中での魚釣りへ

二つのグループでそれぞれ違うアイデアが出て、それを取り入れて行く中で、さらに遊びが盛り上がっています。また、「(そっちのグループは)何してるの?」と尋ねて教え合う姿もありました。

自分の考えや気持ちを話したり、友だちの意見を聞いて考えたりする経験を重ねていくことや、考えた事をいろいろと試しながら魚釣り遊びを楽しんでいます。

ここからさらに遊びがどう広がっていくのか、保育者もワクワクしながら見守っています。